

## 「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 第1回」

上北地区：令和4年6月 9日（木）三沢市国際交流教育センター

受講者18名

西北地区：令和4年6月21日（火）つがる市生涯学習交流センター「松の館」

受講者12名

### 1 趣 旨

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおもり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する。

### 2 内 容

【オリエンテーション】 県総合社会教育センター職員

【講義】「本県における家庭教育の現状と課題、そして解決に向けて」

県総合社会教育センター 教育活動支援課長

【講義】「家庭教育支援者の役割・心構え」

講師 特定非営利活動法人 はちのへ未来ネット

代表理事 平間恵美



### 3 講義要旨

#### 「本県における家庭教育の現状と課題、そして解決に向けて」

- ・核家族化、共働き世帯やひとり親世帯の増加に伴い、親が祖父母などから子育てに関して学ぶ機会も少なくなっており、相談・協力できる人が家族にいないなど、親だけで子育てを担わなくてはならなくなっている。
- ・子どもたちの傾向として、自己肯定感が低い、自然の中での体験が全国よりも低い、肥満傾向が高い等がある。
- ・これら課題解決のためには、社会全体で家庭教育を応援していく取り組みが必要である。

#### 「家庭教育支援者の役割・心構え」

- ・「見ようとしなければ何も見えない」…家庭環境の複雑化で社会とつながりにくい子どもたちが増加。だからこそ、地域とのつながりが重要である。
- ・理解ある人の支援とは…「理解しようとする気持ち」「子育て世代の通訳」「同じ地域の仲間という気持ち」
- ・地域で子どもが、みんなが幸せに安全に生活するためには、「少数の専門家より多数の理解のある人」が必要である。
- ・ネットワークの力で子どもと親の「育ち」を応援しよう。子どもと親が希望と安心を持って幸せに暮らせる地域作りがみんなの幸せにつながる。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	100%	どちらかと言えば不満	0%
どちらかと言えば満足	0%	不満	0%

- ・平間先生のたくさんの活動とその活動を支える信念を聞くことができ、大変勉強になりました。「見ようとしないと見えない」「一人では無理でも二人いれば」という言葉に重みがあり、学びになりました。
- ・平間先生のパワフルな活動に感服いたしました。まずは、自分の周りに関心を持ち、多くの気付きから自分にできることを探し、少しでもお役に立てることを探していこうと思いました。
- ・平間先生のエネルギーを感じ、「何かしたい」「地域のために」「誰かのために」と何かしたい気持ちでうずうずしています。社会（保育園、学校）・家庭・地域において「子ども観」が統一され、一人一人の子どもたちを大切にしたいと思いました。

本講座の初回にふさわしく、家庭教育支援者として地域の子育て支援に携わりたいという方の意欲が更に高まった回になりました。第2回以降も、講座の様子をお伝えしていきます。